



済美

学校の教育目標

地域に学び、個性豊かにたくましく、
自ら学び行動する子供を育てる

「遠くにあっても輝く星に」

教頭 松嶋 隆徳

この夏は連日の猛暑と晴れ間続きで、まさに異常と言えるほどでした。そんな夏でも、私にとって唯一と言っていいほどありがたかったことが、夜に星空を眺める機会がたくさんあったことです。今年度は、4年理科を担当して1学期に「夏の星」を指導し、4年生にはこの夏休み中に星空を観察するように話していました。そんなこともあり、たまにはゆっくり星空を眺めようかなと思ったことがきっかけでした。私自身、小学校の頃に星の学習を通して星座が大好きになり、毎日星空を眺めていました。星座早見と懐中電灯を持ち、どこにどんな星座があるのか徹底的に観察しました。今はそうではありませんが、当時は見上げた星空全てが星座の線で結ばれたように見えたほどでした。

さて、4年理科「夏の星」の学習では、「星には明るさや色に違いがあること」、「星は明るい順に1等星、2等星、3等星、…と分けられていること」を学びました。ここでは学びませんが、星の明るさについて少し発展的な話をします。1等星とは、一般的には1.5等級よりも明るい星を指し、世界で21個あります。しかし、正確には1等星よりさらに明るい星があり、0等星、-1等星、-2等星、…と数値が小さくなるほど明るくなります。地球上から見える最も明るい恒星（自ら光を放っている星）は、太陽を除いて「おおいぬ座」のシリウスで、-1.46等級です。ただ、シリウスと地球との距離は約8.6光年（1光年は光が1年間に進む距離）であり、その距離から地球に近い恒星の1つと言えます。つまり、星自体はさほど明るくなくても、近くにあれば明るく見えるということです。シリウスの明るさは、地球から見た見かけの明るさに過ぎないのです。

そこで、どの星も地球から32.6光年の距離にあったら明るさはどうなるだろうかと考えたのが、「絶対等級」という考え方です。すると、地球から約1,412光年の距離にある「はくちょう座」のデネブ（1.25等級）は、-8.73等級という一番明るい星になります。ちなみに、太陽（-26.74等級）は4.83等級という暗い星になります。太陽も遠くにあれば目立たない星の1つに過ぎないのです。

ここまで、星の明るさと距離との関係について述べてきました。星の見え方に限らず、とにかく私たちは、すぐ近くにあるきれいな物、目立つ物に目が向いてしまいます。そして、それが一番よい物だと考え、それをすぐに欲しがったり、自分だけの物にしたがったりします。しかし、それらが必ずしもすばらしい物であるとは限りません。ダイヤのように美しく輝いていても、イミテーションのガラスであるかもしれません。子供たちには、見かけだけに惑わされず、全ての物を公平に見ることが出来る心をもってほしいと思います。そして、遠くにあっても暗くて目立たなくても、美しく輝く星のような清らかな心をもってほしいと思います。

「学校教育活動に関するアンケート」の結果をお知らせします

1 学校の教育活動に対して

① 学校教育の充実

- ・校長先生の計算大会を続けてほしいです。毎日ゲーム感覚で楽しく計算練習をしていて、すごくよい取り組みだと感じています。(低学年)
- ・短歌を詠むことで言葉やリズム感を学んでいます。簡単そうで奥が深いので継続してほしいです。(中学年)
- ・全校で短歌を作り、発表していることがすごくよいと思います。色々な短歌を見て私も楽しませてもらっています。(高学年)

昨年度から始まった計算大会、短歌大会は、どの学年からも好ましいという意見が出されていました。それぞれの大会について、児童のがんばりを認める場を設定することで、自己肯定感を高めたり、友達のよさを感じたりすることができるようにしています。児童の計算力、表現力を高めるとともに、子供たちの自信につなげるために、2学期以降も継続していきたいと思います。

- ・毎日学校を楽しみにしている様子がうかがえます。校外学習や集団で意見を言い合う授業など、家庭では難しい内容を学校でしていただけるので助かっています。(低学年)
- ・家に帰ってきてから校外学習で行ったところの話を楽しそうに聞かせてくれます。(中学年)
- ・子供から行事の体験の話を聞くのがうれしいです。宿泊学習では、自分の役割などを意識して活動していたようで、責任感が感じとれました。(高学年)

学校での学習、各行事や校外学習等については、どの学年からも好ましいという意見が出されていました。今後も各学年の学習内容に合わせて実施時期や回数、内容を考慮し、地域の方々との交流をしながら充実を図っていきたいと考えています。

② 学校と家庭の連携

- ・校長室だよりで自分の子供以外の学年の様子も知ることができ、校長先生が積極的に子供たちと接していることが分かりました。(低学年)
- ・お便りで学校生活が分かるので今後も続けてほしいです。(高学年)

どの学年からも各種たよりやホームページの充実についての意見が出されていました。今後も、個人情報保護に気を付けながら、効果的な情報の公開に努めていきたいと思います。

- ・軽微な連絡、短い文字だけのものは安心メールで配信してほしいです。出欠、アンケート等は入力フォームでの回答を。紙のほうがよいものもありますが、簡単な案内はメールがよいです。(低学年)
- ・安心メールで地域のことや細かな情報を提供していただけるので、とてもありがたいです。今後も続けてほしいです。(中学年)

安心メールについては、これまでも天候悪化に伴う安全な登下校に関するお願い、下校時刻の変更に関するお知らせ、各行事の実施有無に関するお知らせ等をその都度配信してきました。今後もスピーディーな情報収集、情報発信に努めていきます。

③ 健康・安全な学校生活の充実

- ・これから暑くなるので、熱中症対策が心配になります。(高学年)
- ・子供たちの安全第一に行事等を行っていただけていると思います。今後も熱中症にならないように対策を続けてほしいと思います。(高学年)

熱中症対策については、7月に配布したお便りで、水分補給や塩分タブレットの持参、暑さ・紫外線対策グッズの使用等について各家庭にお知らせ、お願いをしたとおりです。学校では暑さ指数(WBGT)を絶えず計測しており、危険と判断した場合には体育や休み時間等における運動を中止する措置を講じてきました。9月には大運動会があり、その練習や準備等においても短時間で終わらせる、適宜水分補給の時間を設ける、場合によっては中止するという対応をとっていきます。

④ 子供の人間関係

- ・これまでは、学校であった子供間のトラブルや下校中の問題点など、様々なことで各

年次の担任の先生からその日にお電話をいただいていた。学校でしか見られない子供の問題点もあると思うので、特に人間関係で気になる点があれば些細なことでも教えていただけるとありがたいです。(低学年)

- ・人間関係でトラブルがある事は存じています。子供たちが各々の気持ちで、毎日を前向きに進めようと努力しているはず。親としては、気持ちの変化に気付けば対応しますし、今は楽しく学校生活ができているように見えたので、そっと見守りたいと思っています。(高学年)

子供の人間関係の問題については、保護者の皆様に事実や問題点と考えられることを電話でお伝えたり、直接お話ししたりして解決の方向を一緒に考えています。今後も、学校と保護者の皆様が問題を共有し、解決策を一緒に考える姿勢を継続し、問題解決に向けて取り組んでいきます。

2 家庭での子供たちの様子より

① 挨拶

- ・上の学年の子たちが挨拶を大きな声で気持ちよく言っているのを聞いているので、1年生もそれが当たり前になってできるようになっているところがいいなと思います。(低学年)
- ・恥かしがりなので、近所の方への挨拶はまだですが、家ではしっかりしています。(中学年)
- ・先生方のご指導のおかげで、自ら挨拶ができるようになってきていると思います。ありがとうございます。(高学年)

挨拶を頑張っているという意見が多くあった一方で、できているか不安であるという意見もありました。学校では、計画委員会が中心になってボランティアを呼びかけ、児童玄関であいさつ運動を行っています。また、4月には村椿更生保護女性部による「朝のさわやかあいさつ運動」が行われ、9月にも実施されます。誰もが時と場に応じて気持ちのよい挨拶ができるように、今後も挨拶について全校で取り組んでいきます。家庭でも挨拶の励行をお願いします。

② 家庭学習

- ・家庭学習の主体をわくスタよりもプリント等にしてほしいです。低学年だからかもしれないませんが、自ら課題を見つけて学習させるのはハードルが高いと感じます。(低学年)
- ・ゲームをする時間が増えてきて、宿題をするときとうまく切り替えられません。そのせいで就寝時間も遅くなり、朝起きられないことが多くなってきました。(中学年)
- ・時間を意識しながら勉強するのは、まだ難しいです。仕上げるのに必死、という感じです。(高学年)

保護者の皆様の関心が高く、たくさんの意見がありました。「自分から学ぼうとする力」は生きていく上で必要不可欠です。自ら学ぶ習慣を身に付けるために、短い時間でもよいので、わくスタ等の自主的な学習を必ず行うようにしてほしいです。ただ、自分で課題を見つけて取り組んだり、進め方を工夫して学習したりすることは難しいと思います。各学期の学習参観の際にわくスタのノート展を実施しますので、参考にしてください。学校としては、児童の意欲が高まるように授業の終わりにわくスタに取り入れるとよい内容を示したり、他の児童に参考となる取組内容を知らせたりしていきます。

③ 生活習慣づくり

- ・メディアの時間を守ろうとしています。(低学年)
- ・歯磨き、早寝早起き、お手伝いは自分から率先してやってくれるので助かっています。(低学年)
- ・早く寝ているのですが、朝が弱くなかなか起きられません。(中学年)
- ・何でも自分でできるようになり、お手伝いをしてくれることが増えました。(中学年)
- ・早寝早起きし、朝食を毎日しっかり食べて学校に行っています。(高学年)
- ・よい点は近所へジョギングに行っていることです。(高学年)

早寝早起きやお手伝い、メディアコントロール等を意識して取り組んでいるという意見が多くありましたが、思うようには進んでいないという意見も少なくありませんでした。習慣化させるためには、簡単なことからできることを見付け、まずは継続して取り組むことが大切です。お子さんの様子を見られて、具体的な目標を立てたり、ときには目標のハードルを下げたりすることも必要です。少しずつできることが増えるように、やろうとする意識が高まるように取り組んでみてください。

3 当日（7/1）の学習参観や学級懇談会について

- ・4月の学習参観では緊張している様子でしたが、今回の学習参観は手がよく挙がり、どの児童も積極的に授業に参加していました。（低学年）
- ・みんなと楽しく学習できているようで安心しました。（低学年）
- ・友達と協力して学習していた姿を見て安心しました。（中学年）
- ・どんな雰囲気では授業を受けているか見られてよかったです。（中学年）
- ・クラスの雰囲気がとても明るく、授業風景もよかったです。（高学年）
- ・先生と子供たちとの和やかな授業風景を見られて安心しました。（高学年）

どの学年も落ち着いた態度で、積極的に学習に取り組んでいたことが分かりました。その後の学級懇談会では、「子供たちの学校生活の説明があり、とてもよかったです」「先生と保護者の方といろいろなことを話すことができてよかったです」と肯定的な意見が多くありました。このアンケートを生かし、よりよい授業、学級づくりに全校で取り組んでいきます。

このほかの個々の要望事項に関しては、今後関係する保護者の方に学校から連絡をさせていただきます場合があります。

9月の行事予定

- 1日（月）2学期始業式、給食開始、全校4限まで下校 13:30
交通安全の日、生活アンケート、防災訓練シェイクアウトとやま
※防犯パトロール隊（出・六・飯）
- 2日（火）学校集金日
- 3日（水）更生保護女性会朝のさわやかあいさつ運動①
身体測定（全学年）、校内夏休み作品展（～5日）
- 4日（木）視力検査（全学年）、PTA全体委員会⑤19:00
- 5日（金）委員会活動⑤
※防犯パトロール隊（吉・大・荒・飛）
- 8日（月）教員研修会のため全校4限まで集団下校 14:10
※防犯パトロール隊（出・六・飯）
- 9日（火）黒部踊り講習（地域ボランティア）①
- 10日（水）更生保護女性会朝のさわやかあいさつ運動②
- 12日（金）市発明くふう展（～23日、吉田科学館）
- 15日（月）㊦敬老の日
- 16日（火）交通安全の日
黒部踊り講習（地域ボランティア）②
- 17日（水）更生保護女性会朝のさわやかあいさつ運動③
- 18日（木）PTA全体委員会⑥19:00
- 22日（月）PTA秋の交通安全運動街頭指導（～30日）
- 23日（火）㊦秋分の日
- 24日（水）更生保護女性会朝のさわやかあいさつ運動④、運動会全体練習
教員研修会のため全校3限まで 集団下校 13:05
- 25日（木）運動会全体練習予備日、にこにこの日
- 26日（金）運動会前日準備1～3年下校 14:00、4～6年下校 15:00
※防犯パトロール隊（吉・大・荒・飛）
- 27日（土）秋季大運動会 開会 8:30、閉会 12:20、下校 14:00
市科学作品展（～10月7日、吉田科学館）
- 28日（日）秋季大運動会予備日
- 29日（月）振替休業日
- 30日（火）4年美術館出前授業

敬老の日・・・多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日

秋分の日・・・祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ日

【10月】の主な行事予定

- 9日（木）学習参観、PTA教養講座、学校運営協議会②
- 20日（月）教員研修会のため全校3限まで集団下校 13:00
- 23日（木）就学時健診のため全校3限まで 5年以外下校 12:40、5年下校 14:15頃
- 25日（土）PTA資源回収
- ※予定を変更する場合があります。